



重点プロジェクト

- ・児童図書や自動車文庫の充実など、施設環境の整備に努めます。
- ・図書館の役割と読書の楽しさや必要性を啓発するための講演会や講座を開催します。
- ・郷土にちなんだ資料の紹介や展示などを行います。
- ・教育機関や福祉施設、地域の団体などと協力し、子どもの読書と学習活動を支援します。

基本方針3 学校における子どもの読書活動を推進します

津山市内では、全36小中学校に学校司書（または図書整理員）を配置するなど児童生徒の読書活動の推進に先進的に取り組んでいます。また、近年、問題となっている学力向上に関する取り組みについても、読書活動が大きな役割を担っています。今後は学校の読書環境を整備する中で、保護者や地域の方々の協力も得ながら、子どもの読書習慣の形成・確立をすすめ、自主的な読書活動が身につくよう取り組みます。

重点プロジェクト

- ・「朝読書」や読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックトーク等に取り組み、子どもの読書に関する意識の高揚を図ります。
- ・学校図書室の図書資料を計画的に整備します。
- ・読書感想文集「こだま」を継続作成し、児童生徒の読書活動を促進します。

基本方針4 子どもの読書活動の推進に関する啓発を行います

子どもの読書活動の推進には、本人の興味はもちろんのことですが、それぞれの子どもの発達段階に応じた適切な働きかけと、子どもを育む家庭や地域の方々の協力が欠かせません。そのためにはまわりの大人自らも読書に親しむ中で、子どもの読書活動の意義や重要性について理解してもらうことが必要です。家庭や地域の人々に理解と関心を深めてもらえるよう啓発に努めます。

重点プロジェクト

- ・子どもの読書活動を地域全体で支援する必要性の啓発に努めます。
- ・「広報つやま」や生涯学習情報紙「まなびい」、ホームページなどを通じて、子ども読書活動推進関連事業をPRし、情報の提供と啓発に努めます。
- ・子どもの読書週間や子ども読書の日、またその行事についてPRし、子どもの読書活動の重要性の啓発に努めます。

ストーリーテリング

話し手が、お話や物語を覚えて、本無しに聞き手に語って聞かせること。

読書感想文集「こだま」

学校図書館協議会が中心となり作成している読書感想文集。毎年、年間約3,000人の児童生徒が応募している。